

令和五年十二月七日提出
質問第一〇四号

北九州港及び関門航路の整備推進に関する質問主意書

提出者
城井
崇

北九州港及び関門航路の整備推進に関する質問主意書

北九州港及び関門航路の整備推進に関して、以下質問する。

一 北九州港において、近年の船舶の大型化に伴う増深・拡幅や維持浚渫が港湾管理者の重要な責務となっているが、既存の浚渫土砂処分場並びに廃棄物処分場の残容量が逼迫していることから、響灘東地区において進められている、北九州港廃棄物海面処分場の整備に対して支援するため、政府において必要な措置を講ずるべきと考える。政府の認識と具体的な取り組みについて明らかにされたい。

二 新門司地区において、船舶の大型化に対応して、一層の物流効率化を図るための、新門司地区複合一貫輸送ターミナルの航路、泊地の整備を推進するため、政府において必要な措置を講ずるべきと考える。政府の認識と具体的な取り組みについて明らかにされたい。

三 北九州港における、社会資本総合整備計画に基づく港湾施設の計画的整備、実施事業に対して支援するため、政府において必要な措置を講ずるべきと考える。政府の認識と具体的な取り組みについて明らかにされたい。

四 北九州港において、老朽化した港湾施設等への対応は大きな課題となっている。特に早期完成が望まれ

ている、西海岸地区の岸壁では予防保全事業による老朽化対策と耐震化の整備を推進するため、政府において必要な措置を講ずるべきと考える。政府の認識と具体的な取り組みについて明らかにされたい。

五 関門航路において、大型船舶が満載喫水で航行できないなど、非効率な輸送形態となっており、我が国の産業活動に影響を与えているとともに、海難事故が引き続き発生している。関門航路の航路深水十四メートルに向けた整備を推進するため、政府において必要な措置を講ずるべきと考える。政府の認識と具体的な取り組みについて明らかにされたい。

右質問する。